

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名 株式会社トスネット 上場取引所 大
 コード番号 4754 URL http://www.tosnet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 奉昭 (TEL) (022)299-5761
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	4,534	7.6	290	80.1	314	81.5	117	58.1
23年9月期第2四半期	4,215	6.0	161	△18.9	173	△17.9	74	△24.8

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 153百万円(68.1%) 23年9月期第2四半期 91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年9月期第2四半期	27	78	—	—
23年9月期第2四半期	17	59	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	5,469	39.0	2,133	39.0	—	—
23年9月期	5,319	37.8	2,011	37.8	—	—

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 2,133百万円 23年9月期 2,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
23年9月期	—	0	0	7	7	50	50
24年9月期	—	0	0	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	7	7	50	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,100	8.0	340	0.5	450	23.3	190	60.7	44	91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	4,232,600株	23年9月期	4,232,600株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	2,273株	23年9月期	2,273株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	4,230,327株	23年9月期2Q	4,230,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から緩やかながらも回復の兆しを見せておりましたが、長引く円高や欧州の財政問題、株式市況の低迷等景気回復への先行きには依然不透明な状況が続いております。

警備業界におきましても、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、厳しい受注競争が続き、警備品質向上のためのコストアップ要因等を抱え、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは施設警備、列車見張り警備の拡販及びロードスタッフの受注拡大など当社グループの中核となる事業に軸足を置いて業容の拡大と収益力の強化に努め、また東日本大震災に伴う復旧工事に係る交通誘導警備に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,534百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益は290百万円(前年同四半期比80.1%増)、経常利益は314百万円(前年同四半期比81.5%増)、四半期純利益は117百万円(前年同四半期比58.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は3,842百万円(前年同四半期比2.2%減)、セグメント利益は151百万円(前年同四半期比8.9%増)となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、当社グループの特色を生かしたロードスタッフ、イベント警備、駐車場警備、また東日本大震災の復旧工事へ積極的に取り組み、当部門の売上高は2,399百万円(前年同四半期比微増収)となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、首都圏を中心に積極的に拡大を図っており、当部門の売上高は1,061百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

③ 列車見張り警備

連結子会社の㈱大盛警備保障の受注は堅調に推移しましたが、㈱トスネットの売上が伸び悩み、当部門の売上高は373百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は110百万円(前年同四半期比49.6%増)、セグメント利益は2百万円(前年同四半期は2百万円の損失)となりました。

(メールサービス事業)

メールサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の梱包及び発送取次業務等を行っております。メールサービス事業の売上高は242百万円(前年同四半期比13.5%増)、セグメント利益は12百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサートの仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は338百万円、セグメント利益は107百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して149百万円増加し、5,469百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が89百万円減少したものの、現金及び預金が255百万円増加したこと等であります。

負債は主に長期借入金が69百万円減少したものの、短期借入金の増加80百万円、未払費用の増加33百万円等により、前連結会計年度末と比較して28百万円増加し、3,336百万円となりました。

純資産は利益剰余金が85百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して121百万円増加し、2,133百万円となりました。この結果、自己資本比率は39.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して255百万円増加し、1,381百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は372百万円(前年同四半期は184百万円の収入)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額178百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益292百万円、減価償却費29百万円、のれん償却額52百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は29百万円(前年同四半期は21百万円の支出)となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出12百万円、有形固定資産の取得による支出18百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は87百万円(前年同四半期は167百万円の収入)となりました。この主な要因は、短期借入金の純増加額80百万円、長期借入れによる収入279百万円があったものの、長期借入金の返済による支出408百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月14日付「平成23年9月期決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,943	1,381,771
受取手形及び売掛金	215,309	125,530
警備未収入金	906,725	933,049
仕掛品	4,989	539
貯蔵品	18,176	20,530
繰延税金資産	31,525	30,041
その他	66,223	68,368
貸倒引当金	△8,429	△7,721
流動資産合計	2,360,464	2,552,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	329,083	319,371
土地	994,345	994,345
その他(純額)	121,758	155,249
有形固定資産合計	1,445,186	1,468,966
無形固定資産		
のれん	932,755	880,665
その他	34,779	32,935
無形固定資産合計	967,535	913,601
投資その他の資産		
投資有価証券	339,587	349,487
投資建物(純額)	7,113	6,625
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,604	3,604
繰延税金資産	75,155	52,103
その他	67,083	64,874
貸倒引当金	△17,849	△13,679
投資その他の資産合計	546,780	535,101
固定資産合計	2,959,502	2,917,668
資産合計	5,319,966	5,469,779

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	580,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	511,088	450,132
未払法人税等	205,250	176,000
未払消費税等	71,391	99,512
未払費用	543,631	576,726
賞与引当金	31,600	31,165
繰延税金負債	649	—
その他	184,375	225,186
流動負債合計	2,127,986	2,218,723
固定負債		
長期借入金	994,267	925,265
退職給付引当金	157,066	163,943
その他	29,180	28,751
固定負債合計	1,180,514	1,117,961
負債合計	3,308,501	3,336,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	524,680
資本剰余金	508,300	508,300
利益剰余金	992,272	1,078,063
自己株式	△638	△638
株主資本合計	2,024,614	2,110,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,149	22,688
その他の包括利益累計額合計	△13,149	22,688
純資産合計	2,011,465	2,133,094
負債純資産合計	5,319,966	5,469,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	4,215,128	4,534,218
売上原価	3,113,933	3,240,728
売上総利益	1,101,194	1,293,490
販売費及び一般管理費	940,126	1,002,617
営業利益	161,068	290,873
営業外収益		
助成金収入	8,995	30,537
受取賃貸料	9,829	11,703
受取出向料	—	5,340
その他	13,619	12,194
営業外収益合計	32,444	59,775
営業外費用		
支払利息	11,134	15,888
投資有価証券運用損	7,168	5,368
持分法による投資損失	—	13,899
その他	1,790	1,225
営業外費用合計	20,092	36,382
経常利益	173,420	314,265
特別利益		
投資有価証券売却益	2,334	—
特別利益合計	2,334	—
特別損失		
固定資産廃棄損	—	811
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券償還損	—	21,312
リース損害金	4,171	—
特別損失合計	4,179	22,124
税金等調整前四半期純利益	171,575	292,141
法人税、住民税及び事業税	104,149	169,477
法人税等調整額	△6,977	5,145
法人税等合計	97,171	174,623
少数株主損益調整前四半期純利益	74,403	117,518
四半期純利益	74,403	117,518

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,403	117,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,094	35,837
その他の包括利益合計	17,094	35,837
四半期包括利益	91,498	153,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,498	153,356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	171,575	292,141
減価償却費	22,914	29,818
のれん償却額	16,486	52,090
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,004	△4,877
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,190	△435
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,306	6,877
受取利息及び受取配当金	△2,139	△1,615
支払利息	11,134	15,888
持分法による投資損益(△は益)	—	13,899
投資有価証券運用損益(△は益)	7,168	5,368
投資有価証券償還損益(△は益)	—	21,312
投資有価証券売却益	△2,334	—
投資有価証券売却損	7	—
有形固定資産廃棄損	—	811
売上債権の増減額(△は増加)	34,990	65,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	500	2,096
前払費用の増減額(△は増加)	19,106	10,796
未収入金の増減額(△は増加)	2,665	△9,733
未払金の増減額(△は減少)	△9,870	△22,420
未払費用の増減額(△は減少)	△9,584	34,196
預り金の増減額(△は減少)	△1,385	43,490
その他	△7,220	9,228
小計	259,126	564,827
利息及び配当金の受取額	2,135	1,505
利息の支払額	△11,684	△15,691
法人税等の支払額	△64,773	△178,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,804	372,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11,527	△12,037
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,509	11,334
投資有価証券の払戻しによる収入	3,079	4,799
有形固定資産の取得による支出	△19,815	△18,489
有形固定資産の売却による収入	—	84
敷金の差入による支出	△946	△3,904
その他	△2,982	△10,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,683	△29,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	80,000
長期借入れによる収入	100,000	279,000
長期借入金の返済による支出	△97,404	△408,957
配当金の支払額	△31,718	△31,217
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,873	△6,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,003	△87,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	330,124	255,828
現金及び現金同等物の期首残高	880,508	1,125,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,210,633	1,381,771

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,927,958	73,640	213,530	4,215,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,039	3,625	—	24,665
計	3,948,998	77,265	213,530	4,239,793
セグメント利益又は損失(△)	139,056	△2,616	12,089	148,528

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	3,842,946	110,160	242,291	338,819	4,534,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,060	4,643	—	—	5,703
計	3,844,006	114,804	242,291	338,819	4,539,921
セグメント利益	151,442	2,151	12,221	107,976	273,792

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。